



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2475 URL https://www.wdbhd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹 TEL 079-287-0111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,882	1.4	3,931	5.0	3,961	5.8	2,609	18.2
2020年3月期第3四半期	32,421	3.8	3,743	△6.2	3,742	△6.9	2,207	△10.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,672百万円 (23.2%) 2020年3月期第3四半期 2,169百万円 (△11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	131.52	—
2020年3月期第3四半期	111.28	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,937	21,712	73.6
2020年3月期	26,545	19,687	72.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 21,299百万円 2020年3月期 19,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	16.50	27.50
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	22.50	37.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	△0.7	4,000	△19.3	4,000	△19.4	2,352	△24.5	118.55

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	20,060,000株	2020年3月期	20,060,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	220,841株	2020年3月期	220,763株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	19,839,171株	2020年3月期3Q	19,839,237株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けました。海外での感染拡大のみならず、国内においても感染が再拡大の様相を呈しており、1月には緊急事態宣言が再発令され、様々な経済活動が制約を受け続けております。

国内の雇用情勢に目を向けますと、厚生労働省が発表した有効求人倍率(季節調整値)は、2020年12月の数値が1.06倍となり、2020年9月と比べ、0.3ポイント上昇いたしました。また、総務省が発表した完全失業率(季節調整値)は、2020年12月の数値が2.9%となり、2020年9月と比べ、0.1ポイント低下いたしました。新型コロナウイルス感染症の流行により、雇用環境については依然厳しい状態が継続しております。そのため、当社グループの主要顧客である医薬、化学、食品などの製造業における研究所・品質管理部門での、人材派遣サービスに対する需要も、回復はしておりません。

人材サービス事業では、多くの派遣社員の契約期限が12月末に到来しましたが、6月、9月と同様に、新型コロナウイルス感染症を理由とした契約解除は、ほぼ発生しませんでした。また、営業活動は、感染防止策を取った上で、オンラインも活用しながら行っておりますが、新規の派遣依頼および受注は、まだ回復しておりません。全体として、既存派遣社員の雇用は維持できているものの、業容の拡大には至っていない状況であります。

CRO事業は、人材サービス事業に比べ、新型コロナウイルス感染症が流行する前から、オンラインでの営業活動や在宅勤務が普及していた分野であり、新型コロナウイルス感染症の影響をほぼ受けておりません。また、アメリカおよびフィンランドにおいても、在宅勤務を行うことができたため、経営成績への影響は軽微でありました。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、32,882百万円(前年同期比1.4%増)となりました。営業利益は、3,931百万円(前年同期比5.0%増)、経常利益は、3,961百万円(前年同期比5.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,609百万円(前年同期比18.2%増)となりました。また、当社が重視している指標である売上高経常利益率は、12.0%となりました。売上に比べ、利益が大きく伸びている主な原因は、第1四半期に営業活動を自粛したこと、第2、第3四半期にオンライン営業の比率が高まったことにより、営業交通費が減少したことに加え、昨年度の同時期に発生した新規出店に伴う費用が、今年度は発生しなかった結果、販管費が減少したことによるものです。

セグメントごとの経営成績は、下記の通りとなっております。

## ① 人材サービス事業

当セグメントの売上高は、29,196百万円(前年同期比0.3%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は、3,827百万円(前年同期比1.0%増)となりました。第1四半期から続く新規受注数の減少が影響し、売上高、セグメント利益のいずれも、前年同期とほぼ同じ金額となっております。

## ② CRO事業

当セグメントの売上高は、3,485百万円(前年同期比14.4%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は、387百万円(前年同期比36.0%増)となりました。主に海外において、経営成績が堅調に推移したことが要因であります。

## ③ その他

当セグメントの売上高は、200百万円(前年同期比27.2%減)となりました。また、セグメント損失(営業損失)は、5百万円(前年同期は12百万円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産が28,937百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,392百万円の増加となりました。負債につきましては、主として未払金の増加により、7,225百万円となり、前連結会計年度末と比較して367百万円の増加となりました。また、純資産は21,712百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,025百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在、新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、それがどの程度業績に影響を及ぼすか不透明なため、2021年3月期の連結業績予想および配当について、2020年5月14日に発表した業績予想からの変更はありません。当社グループとしては、現在の状況が当面続くと想定し、業績を見通しております。今後、状況が大きく変わり、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症がさらに拡大した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす要素を、以下に記載します。

## ①既存派遣契約の更新について

既存派遣契約の大半は、3か月ごとの契約更新を繰り返しており、次の契約期限は3月末になります。6月末、9月末、12月末では、大半の契約について、契約更新を獲得できましたが、顧客の業績に新型コロナウイルスの影響が徐々に表れているため、今後、契約更新率は低下していくことが予想されます。

## ②新規契約の受注について

営業活動の自粛および顧客の採用意欲低下により、例年に比べ、新規の派遣依頼および受注の件数は低下しております。当第3四半期連結会計期間末も、新規の派遣依頼および受注の件数はコロナ前の水準に戻っておらず、この状況は当面続くと予想しております。新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、顧客の採用意欲がさらに低下し、再度の営業活動の自粛が必要になった場合、受注件数はさらに落ち込むことが予想されます。

## ③既存派遣社員の自宅待機について

スタッフが再び自宅待機せざるを得ない状態になった場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,272,483	18,250,143
受取手形及び売掛金	5,315,764	5,523,379
たな卸資産	171,449	155,389
その他	243,649	616,649
貸倒引当金	△4,440	△288
流動資産合計	21,998,905	24,545,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,626,399	1,550,615
土地	748,080	748,080
その他(純額)	275,689	268,523
有形固定資産合計	2,650,169	2,567,219
無形固定資産		
のれん	307,912	223,335
その他	37,677	39,857
無形固定資産合計	345,589	263,193
投資その他の資産		
投資有価証券	88,501	85,750
敷金及び保証金	738,901	737,832
繰延税金資産	455,078	453,743
その他	268,005	284,871
投資その他の資産合計	1,550,487	1,562,197
固定資産合計	4,546,246	4,392,610
資産合計	26,545,151	28,937,883
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043,102	2,016,453
未払金	322,932	825,828
未払法人税等	777,918	636,007
未払消費税等	999,447	972,936
賞与引当金	635,228	526,251
資産除去債務	—	6,757
その他	974,682	1,098,719
流動負債合計	5,753,311	6,082,955
固定負債		
役員退職慰労引当金	439,090	456,981
退職給付に係る負債	238,006	268,484
資産除去債務	239,437	239,878
その他	188,097	177,307
固定負債合計	1,104,631	1,142,651
負債合計	6,857,943	7,225,606

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	686,963	686,895
利益剰余金	18,382,882	20,367,115
自己株式	△743,591	△743,798
株主資本合計	19,326,255	21,310,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,720	11,810
為替換算調整勘定	△3,804	△12,499
退職給付に係る調整累計額	△5,229	△9,631
その他の包括利益累計額合計	4,686	△10,320
非支配株主持分	356,266	412,385
純資産合計	19,687,208	21,712,277
負債純資産合計	26,545,151	28,937,883

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	32,421,203	32,882,812
売上原価	23,786,899	24,289,223
売上総利益	8,634,303	8,593,589
販売費及び一般管理費	4,890,777	4,662,178
営業利益	3,743,526	3,931,410
営業外収益		
保険解約返戻金	3,470	—
助成金収入	1,978	25,340
その他	10,215	8,124
営業外収益合計	15,664	33,464
営業外費用		
上場関連費用	12,618	—
その他	4,089	3,750
営業外費用合計	16,708	3,750
経常利益	3,742,482	3,961,124
特別利益		
固定資産売却益	276	216
為替換算調整勘定取崩益	—	7,097
特別利益合計	276	7,313
特別損失		
固定資産除却損	26,109	6,533
為替換算調整勘定取崩損	7,659	—
その他	—	216
特別損失合計	33,769	6,750
税金等調整前四半期純利益	3,708,990	3,961,688
法人税、住民税及び事業税	1,342,820	1,263,868
法人税等調整額	158,415	10,115
法人税等合計	1,501,235	1,273,984
四半期純利益	2,207,754	2,687,703
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	78,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,207,754	2,609,167

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,207,754	2,687,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,833	△1,910
為替換算調整勘定	△48,495	△8,695
退職給付に係る調整額	1,566	△4,402
その他の包括利益合計	△38,095	△15,007
四半期包括利益	2,169,659	2,672,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,169,659	2,594,207
非支配株主に係る四半期包括利益	—	78,488

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,098,552	3,046,526	32,145,078	276,125	32,421,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,178	—	27,178	—	27,178
計	29,125,730	3,046,526	32,172,257	276,125	32,448,382
セグメント利益	3,790,631	284,653	4,075,284	12,060	4,087,344

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,075,284
「その他」の区分の利益	12,060
全社費用(注)	△343,818
四半期連結損益計算書の営業利益	3,743,526

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,196,715	3,485,184	32,681,899	200,912	32,882,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,750	—	17,750	—	17,750
計	29,214,465	3,485,184	32,699,650	200,912	32,900,562
セグメント利益	3,827,805	387,125	4,214,930	△5,363	4,209,566

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,214,930
「その他」の区分の利益	△5,363
全社費用(注)	△278,156
四半期連結損益計算書の営業利益	3,931,410

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。